

このところ新聞、テレビで話題のゴミ屋敷やゴミに埋もれて暮らす高齢者の姿に「自分の未来を見ているようでゾクゾクとする」と、不安を抱える人が増えています。

かくいう私もその一人で、万が一に備えやがてゴミとなる不用品を片付けねばと思うものの、手つかずのまま放置し、見て見ぬふりをしているのです。

ある日友人から「信用できる整理業者を知らないかしら」と、相談されました。ひとり暮らしの兄が亡くなり、遺品整理をしているが遅遅として進まず、疲れ果て体調をくずし「専門業者に…」となったのです。

野原すみれ『女性のための老後を生きぬく110の知恵』（北辰堂出版）・著者

## ながい老後

vol.13

## うっかり死んではならぬ

明るく 楽しく 快適に



「ベストは役所の粗大ゴミ収集サービスよ、格段に安いからね。物によってはリサイクルバザーや骨董屋さんに持ち込めば」と、すすめるが「もう限界なの、とにかく速やかにさっぱりしたいのよ」と、溜息をつくのです。

それならと私は日本初の遺品整理会社「キーパーズ(Tel 0120・754・070)はどうかしら」と。日本ペンクラブ会員でも

ある社長吉田太一氏の講演を聴き、著書も目にし、まかせるならなこと思っていたからです。

「他社の見積りも取り、サービスの内容を比較して確認すること。大事なのはお金よりもサービスの質だからね」と、念を押しました。

一段落した後で友人は「人間って生まれる時は裸だけど、去る時は裸じやないのよ。トラック2台分位のぼう大なゴミが一緒なのよ、人生のアカがね」と、しんみり。

「葬式代のほかに整理代も必要な時代なんだ。うっかりは死ねないぞ。できるだけ先に延ばそう」と私は思いました。